医療レーザー脱毛　説明・同意書　：あやレディースクリニック

当院では医療機関で医療従事者が取り扱える高出力の脱毛器・米国キャンデラ社製　GentleMax Pro plus を使用しております。レーザー光線を吸収させて、その熱で毛根周囲の組織にダメージを与え長期間における減毛（脱毛）を行うことができる治療方法です。毛には毛周期というサイクルがあり、成長期、退行期、休止期を繰り返しています。脱毛ではその毛周期の成長期の毛のみに反応し、1 回の照射では全体の約２０～３０％程度の成長期の毛根に効果があるため、1 度で全ての毛をなくすことはできません。毛周期には個人差があり、治療間隔は約 1 ヵ月から 2 か月毎で、平均で 5 回～10 回、年齢や部位によっては 10 回以上かかることもあります。レーザー脱毛は永久に無毛状態を保つことができるわけではなく、若干の毛（体毛）の再生が生じます。

治療が受けられない方

□光過敏症　□単純ヘルペスの活動病変　□開放創や感染創 □刺青の部位　□癌治療中の方　□2 ヶ月以内の日焼け　□真皮性の色素斑の部位　□リウマチ治療にて金製剤による治療歴がある方　□てんかんの既往歴がある方　□ペースメーカー入れている方　□妊娠中の方　□重度のアトピー体質・ケロイド体質

治療に注意が必要な方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤を使用中の方は医師の判断によって治療が受けられない場合があります。

□免疫抑制剤　□ステロイド製剤　□糖尿病　□フィラー注入部位　□抗凝固剤・鉄剤　□イチョウ等のサプリメント

注意事項

① レーザー脱毛治療中は、毛穴の中に毛がない状態ではレーザーが反応しませんので、毛抜きやワックスは使用しないで、カミソリやシェーバーでの処理（剃毛）のみにして下さい。脱毛部位は前日、もしくは当日に剃毛して来院してください。
② 日焼けをした状態では熱傷を生じるリスクが高くなるため、照射をすることができません。日焼けしてしまった場合には、日焼けが落ち着いてからの照射となります。脱毛箇所は紫外線対策をおこなってください。
③ 火傷の原因となるため、脱毛部位に日焼け止めや保湿クリームなど何も塗布しない状態でお越しください。
④ 色素のない毛、白髪、金髪などにはレーザーが反応せず、脱毛できません。
⑤ 生理期間中は、肌トラブルや痛みが強く出やすいため脱毛は避けることをお勧めいたします。月経中の VIO 脱毛はお受けできません。
⑥ レーザーにより黒子、刺青が薄くなる可能性がありますので事前にお申し出ください。
⑦ 予約時間に遅れた場合は、他の予約状況によりご予約の取り直しを行うことにご承諾ください。
⑧ 18 歳未満の未成年者の場合、虚偽申請を行った場合、当院は一切の責任は負えませんのでご承諾ください。

治療後注意事項

・脱毛部位は掻いたりしないでください。皮膚を傷つけることで色素沈着になる可能性があります。
・照射後は肌が乾燥しますので充分な保湿でのスキンケアをおこなってください。
・焼けた毛が上手く毛穴から抜けずに毛穴に残る場合がありますが、徐々に抜け落ちますので無理に抜いたりしないでください。個人差がありますが抜け落ちるのに３～４週間かかる場合もあります。
・レーザー脱毛を継続している間の日焼けは禁止です。日常から遮光をおこなってください。

合併症について

レーザー照射後に、赤み・腫れ・毛嚢炎・火傷・炎症後色素沈着・色素脱失・硬毛化・薬剤性光過敏症・凍傷を起こす場合があります。照射後、皮膚トラブルが生じた場合は診療が必要となります。

【硬毛化】ごくまれにレーザー照射後に毛が濃くなったり、硬くなったり、太くなったり、長くなったりといった症状「硬毛化」が起こることがあります。現在のところ確実な対処法が確立されていません。うなじ、背中、二の腕上部、肩、フェイスラインで多い傾向があります。これらの部位のレーザー脱毛はお勧めしておりません。

私は、上記の内容を理解・納得した上で、医療脱毛レーザー治療を受けることに同意致します。

●本人（18 歳未満の場合は、法定代理人欄の両方にご署名が必要です）

年　　月　　日　　氏　名

●法廷代理人（親権者・後見人・保護義務者）あるいは保証人

年　　月　　日　　氏　名　　（続柄　　）